



箕輪進修高校 進路指導室

2012. 5. 7

3, 4年生用 No.9

さあギヤチェンジを！



大型連休も終わり皆さんにとってはよいよ進路選択に向け本格的に始動し始めます。2週間後には第Ⅰ回定期テストが予定されています。卒業学年の皆さんにとっては定期テストⅡまでが本年度の成績として企業や学校に報告されます。その意味でも**ここが頑張り所**です。

進路に向けてまだ気持ちがもう一つ本気になれない人もあるかと思いますが、今ここでギヤチェンジをしないとイケません。AO入試での進学を考えている人は6月からエントリーが始まる学校もあります。その意味でも少なくともどこの学校のどこの学科にするかをそれまでに決めなくてはイケないでしょう。

就職者は7月1日より求人が開始されます。どこの会社にするなどということはまだ決められないでしょうが、各クラスに置かれた昨年度の求人票を見る等企業研究も少しずつ始めて欲しいものです。また**何よりも基礎学力をしっかり付ける**よう心がけましょう。もはや人任せに出来ません。**自分の人生です。自分で動き出さなければ誰も手助けは出来ません**。後悔をしない為にも自分の進路について真剣に考え始めましょう。



日本の企業どうする

企業回りをし企業の方にお話を伺うと、どこの企業も今後の先行きにかなり深刻なものを感じているようです。大手企業は世界的経済不安の中で海外進出を急激に進めており、日本国内では産業の空洞化が益々進んでいます。中小企業にとっては大手企業からの仕事が無くなり、今後どう企業を維持していったらよいかに苦慮しているようです。

中小企業にとっては大量生産的の仕事はなくなり、試作品や小ロットの仕事となり、しかも単価が抑えられてしまい利益が上げられずにいるのです。他の会社が出来ない仕事や利幅が少なくやりたくないような仕事でもあえて手を出さなくては企業が維持できないとのこと。独自の技術を持っていない限り日本国内で会社を維持していくのは益々大変になってきています。

こうした状況の中でいったい日本の企業は今後どこまでやっていかれるのか本当に不安になります。高校生の皆さんからすればとにかくどこかに就職したいと思うでしょう。企業からすれば生き残りに必死で、来てくれる人ならば誰でも良いというわけにはいかないのです。これでは**今後益々就職難は深刻になっていくばかり**でしょう。

企業はもとより慈善団体ではありません。利益を上げなければ成り立たず、自社の利益を上げてくれる人材でなくていけないという状況が一層シビアになってくるでしょう。かつて80年代にアメリカが日本企業等により国内産業が駆逐され大変不景気となりました。そんな時、アメリカの若者達によりコンピューター産業が一気に花開き経済を立ち直らせてきました。

日本もこんな時代だからこそ**新しい時代を切り開く若い人達の知恵に期待**したいものです。